



笑顔で、前進!!

発行/下妻市長公室秘書課 ☎0296-43-2111
〒304-8501 茨城県下妻市本城町2-22
印刷/富岡印刷所

URL <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/>
E-mail info@city.shimotsuma.lg.jp
広報しもつまは、資源保護のための再生紙を使用しています。



都市空間の魅力の増進として、にぎわいを創り出し居心地をよくすることは「プレイスメイキング」と呼ばれます。

まちづくり講演会

街中広場のプレイスメイキングと7つの場

平成28年1月24日(日)

13:00~14:00 受付12:30

会場 下妻市立図書館 映像ホール

定員

130人(先着順) 入場無料
※事前申し込み制



筑波大学准教授
渡和由氏



Profile (わたり・かずよし)
筑波大学芸術系 環境デザイン領域准教授
1982年からGK設計にて科学博や横浜博の公的施設設計を主に担当。
1990年に渡米し、日米の都市や住宅地の計画実務を行う。
1998年に帰国し現職。公共施設計画などで、プレイスメイキングの導入を実践。総合的な環境デザイン手法と「好かれ続ける能動的な生活環境」を研究。また、下妻市では「全国都市再生モデル調査」と「下妻観光おもてなし計画」に携わった。

お問い合わせ・申込先



下妻市役所 都市整備課
〒304-8501 茨城県下妻市本城町2丁目22番地
TEL:0296-45-8128 FAX:0296-43-2945
mail: toshikeikaku@city.shimotsuma.lg.jp

※ お手数ですが、お申し込みは申込用紙を持参・メール・FAXのいずれかをお願いいたします。

素敵な景観に出会える場所、居心地がよく思わずホッとできる場所、ワクワクする場所。それらを創り出す秘密は何でしょうか？

主催:下妻市 協力:茨城県都市計画協会



下妻市観光大使
お笑いコンビ
「江戸むらさき」

お笑いコンビ「江戸むらさき」の野村浩二さんと磯山良司さんは共に下妻市出身で、平成24年3月に下妻市観光大使に就任しています。

地元イベントへの出演をはじめ、3・11東日本大震災や平成27年9月の関東・東北豪雨で下妻市が被災した際にはチャリティ活動で駆け付けるなど、地元愛にあふれる活動を続けています。

今月号では、平成28年にコンビ結成20周年の節目を迎える「江戸むらさき」のお二人に、新年の抱負とふるさと下妻について語ってもらいました。

「下妻の良さを再発見しよう」

■知られていない悔しさをバネに情報発信

いつも地元のイベントに呼んでいただいております。10月の「茨城をたべよう収穫祭」でも砂沼サンビーチで、お笑いライブをやらせてもらいました。

収穫祭に参加しても分かるように、茨城にはおいしいものがいっぱいある。なのに、意外と知られていないところに悔しさがある。下妻にもおいしいものがいっぱいあることを知ってもらいたい。

毎年、実家から梨を送ってもらうので、マネージャーや仲間たちに配ると、「おいしい」ってことで、「これ、どこの梨?」って話になるけど、下妻で梨が採れることが結構知られていない。ものは間違いなくいいので、知名度を上げていけたらと思うんです。

そこで、「ふるさと納税」。微力ながら地元と協力しようと思って、ネットで調べてみると、お礼の品のリストに「梨のリキュール」が載っている。リキュールだったら、まず「めずらしい」って食いついて、飲んでみて「おいしい」。「下妻の梨って、おいしいんだ」ってなって、「じゃ、下妻の梨、食べてみよう」になる。ワクワクしますね。

紫峰牛も気になるところで、せっかくだから、「下妻ならでは感」があるものがほしい。地元を知らない人とPRできないので、地元の情報を得ながら微力ですけど発信していきたいと思っています。

■下妻の人は、下妻の良さを再発見しよう

茨城県の広報番組に呼んでもらったり、下妻市の観光大使にさせていただいたりしたことで、「地元再発見」ができました。本当にありがたい経験だと思っています。

昔は、「茨城は田舎だよ」くらいで終わらせていたけど、地元でいろいろな経験を得てから、「いや、本当にいいとこだよ」って言えるようになりました。最近では下妻駅前行ったらイルミネーションがきれいで、「攻めてんなー」って感じました。下妻の人は、下妻の良さを再発見するべきだと思うんです。僕らも下妻の良さを探っていきますよ。

■コンビ結成20年の節目に

平成28年でコンビ結成20年になるので、下妻で記念ライブができたと思っています。高校生の頃、市内商店街の喫茶店に70~80人くらい集めて、初めてお笑いライブをやったことを思い出します。

それから、情報を発信する場を増やしていきたいです。シモンちゃんに負けないくらい頑張っ、これからもより一層地元孝行していきたいと思ひます。何と云ってても育ててもらった街ですからね。

年頭のあいさつ

下妻市長 稲葉 本治



明けましておめでと〜うございませう。市民の皆さまにおかれましては、健康やかに平成28年の清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、日経平均株価が一時15年ぶりに2万円台を回復、国産初のジェット旅客機が初飛行に成功、ラグビーワールドカップでは日本代表が強豪南アフリカを破る大金星を挙げ、初の1大会3勝など、経済界・産業界・スポーツ界が希望や感動に沸いた話題があった一方で、新国立競技場の建設計画白紙撤回、東京五輪エンブレムの撤回・再公募、免震ゴムや杭打ち工事のデータ改ざんなど、世間を揺るがす大きな事件も多岐にわたりました。

中でも、9月の関東東北豪雨では、過去経験のない大雨が鬼怒川沿川に降り注ぎ、茨城県西南地区の流域市町では甚大な被害が発生いたしました。本市も、鬼怒川の越水により約260戸の家屋が床上・床下の浸水被害を受けたのはじめ、農作物や農業施設、道路や公共施設などに大きな爪痕を残しました。完全復旧にはまだ時間と費用を費やさなければなりません。市民の皆さまが一刻も早く元どりの生活を取り戻せるよう全力で取り組んでおります。

今回の水害では多くのことも学びました。東日本大震災では本市も被災しましたが、水害では地震とは違った対応を強いられ、新たな課題等も発見され

ましたので、検証を行いながら、それらの改善にも取り組んでおります。さて、私が市政を担当させていただいて間もなく6年が経ちますが、その間、東部中学校の新築、各小中学校の耐震改修、企業誘致、道の駅リニューアルなど、多くの皆さまに力強いご支援、ご協力を賜りました。特に、地方行政を預かる者としては、

昨年「消滅可能性都市」が叫ばれるなど、将来予想がつきにくい中で、戦略的かつ慎重な市政運営が求められております。国においては人口減少克服と地方創生を目指し、「まち・ひと・しごと創生」が打ち出されました。本市におきましても、「下妻市に住んで良かった」「下妻市に住んでみたい」と言っていただけ

るよう積極的に地方創生に取り組む、「市民が下妻市に誇りを持ち、『下妻市民です』と言えるまちづくり」を目標に市政運営に取り組んでまいります。企業誘致につきましては、既存の工業団地が完売し、自動車関連をはじめとする優良企業の操業開始など順調な推移を見せ、雇用創出の拡大を図りました。今後も新たな工業用地の確保をはじめ、さらなる雇用の拡大を図ってまいります。

また、砂沼を中心とした「砂沼周辺地区都市再生整備事業」を展開し、まちなかに元気を取り戻し、子どもからお年寄りまでみんなが集えるまちづくりを構築すべく、「健幸都市しもつま」をスローガンに、その中心となる砂沼エントランスおよび交流広場整備事業も進めてまいります。

そして、これからの市政運営にとって大切なことは、市の将来を見据えた総合的なデザインを描くことであると思っております。若者・女性・高齢者・障害者をはじめ、下妻市に暮らす人すべてが、

お正月を迎えるたびに、「住んで良かった、年々良くなっているね」と思っていただけのようなまちづくりには、市長として全力を尽くしてまいります。

結びとなりますが、新しい年が活力にあふれ、市民皆さまの笑顔が輝く、希望に満ちた一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

Photo/鬼怒川と大形橋から日の出を望む

「知れば動くまちづくり」へ ～下妻市協働のまちづくり市民会議の提言～

「下妻市協働のまちづくり市民会議」(塙正明会長)は平成27年11月25日、「協働のまちづくり市民会議活動報告書 ～知れば動くまちづくり～」をとりまとめ、稲葉市長に提出しました。

同市民会議は平成25年10月に発足以来、委員22人が2年間にわたり、自ら身近な地域の課題について話し合い、解決に向けたアイデアを実践してきました。「砂沼周辺地区のまちづくり」「地域ポイント制度の導入」等についての意見交換や検討をはじめ、下妻市社会福祉協議会が運営する「コミュニティカフェ・ぶらっとほーむ」の視察を含め全26回の会議を重ねてきました。

その中で、人は「知れば動く」ことを学び、実践的な協働の取り組みとして、「地域マップ」を作成したほか、フェイスブックページ「しもつま情報ステーション」を設置し、下妻の情報発信を継続しています。

今回の報告書提出にあたり、塙会長は「地域のことを知らない人に、どう知らせるかが問題解決の糸口になると思う。下妻市に関わる全ての人が、下妻市の良いところを積極的に探し、感じ、発信してもらいたい」とあいさつ。人は「知れば動く」ことの学びから、「地域活動の担い手拡大」と「コミュニティのつながりづくり」のための情



稲葉市長に活動報告書を提出する委員の皆さん

報発信が重要であると提言しました。

まちづくりは、市民一人一人が主役です。市では提言の内容を市政に反映し、市民の皆さんが積極的に行政運営や住民自治に関わることができるよう、協働の取り組みを進めていきます。

フェイスブックページ「しもつま情報ステーション」はこちらから <https://www.facebook.com/shimotsuma.joho.station>



公共交通網の広域連携強化へ 茨城県南西地域の4市で検討会議設立

下妻市、つくば市、桜川市、筑西市の茨城県南西地域の4市は12月24日、人口減少や少子高齢化の進行など



検討会議の設立後に記者会見に応じる稲葉本治・下妻市長(左から、市原健一・つくば市長、稲葉本治・下妻市長、大塚秀喜・桜川市長、須藤茂・筑西市長)＝つくば市役所で

を踏まえ、人の移動を支える公共交通ネットワークの形成に向けて、「公共交通網の広域連携を図る検討会議」を設立しました。

今後、年2回程度の市長が集まる会議のほか、各市の担当者が定期的に意見交換や調査などを行い、県西地域3市からつくばエクスプレス(TX)の駅へのアクセスやコミュニティバスの相互乗り入れなどを検討していきます。

記者会見で稲葉本治・下妻市長は「つくば市を核として交通の流れをよくしてもらい、住民のニーズを取り込んでいきたい」と述べ、座長に就任した市原健一・つくば市長は「民間事業者や県も巻き込んで効率的にバスを運行する手段も考えたい」と検討会議に向けた意気込みを語りました。

有料広告欄

有料広告欄

栗野さんは、平成21年に保護司に就任し、罪を犯した人の更生援助や地域における犯罪予防活動に貢献、尽力されています。
この功績により、平成27年度茨城県更生保護大会において関東地方保護司連盟会長表彰を受賞されました。



栗野 英武さん (下妻乙・栗山)

関東地方保護司連盟 会長表彰

岩瀬さんは、平成9年に下妻市選挙管理委員会の委員に就任し、平成25年からは同委員会の委員長を務め、今日まで務めており、19年余の永きにわたり民主政治の確立に大きく貢献されています。
国民参政125周年、普通選挙90周年および婦人参政70周年にあたり、このたび、その功績が認められ、総務大臣から感謝状が贈られました。



岩瀬 和子さん (江)

総務大臣感謝状

首相に要望「関東・東北豪雨被災地に一層の支援を」

平成27年9月の関東・東北豪雨で被災した鬼怒川・小貝川、利根川沿川の10市町(古河市、結城市、下妻市、常総市、守谷市、筑西市、坂東市、つくばみらい市、八千代町、境町)の首長、議長およびJA関係者は12月7日、首相官邸を訪問し、関係機関による復旧支援活動に謝意を示した上で、安倍晋三首相に要望書を提出して一層の支援を求めました。

常総市の高杉徹市長によると、安倍首相は「国としては今回の災害をしっかり受け止め、できるだけ支援をしたい」と応じたと話しました。



安倍晋三首相(右から7人目)に要望書を手渡す吉原英一・坂東市長(同8人目)と高杉徹・常総市長(同9人目)、稲葉本治・下妻市長(同5人目)＝首相官邸で

道の駅しもつま内「下妻食堂・陽陽」がリニューアルオープン

平成27年9月11日にリニューアルオープンした道の駅しもつまの本館に続いて12月23日、「下妻食堂・陽陽」がリニューアルオープンしました。これで、4月から始まった改修工事が完了し、道の駅しもつまが完全稼働となりました。

「下妻食堂・陽陽」は、リニューアル前は農産物直売所だった建屋が、本館のリニューアルに伴い、レストラン(食堂)に入れ替わったもので、店内は白壁で明るく、木のぬ

くもりが感じられるくつろぎの空間になっています。

営業時間は、朝7:00から夜8:00まで。

茨城県銘柄豚コースポーク使用「上コース 豚カツ定食(880円)」、道の駅しもつま製造・福よ来い納豆使用「のり玉納豆定食(500円)」、「しもつまねぎみそラーメン(730円)」など定食や麺類を中心に下妻ならではのメニューがそろっています。



六角形の屋根が目印の「下妻食堂・陽陽」



白壁と木柱を生かした明るい店内

まちのわだい

Town Topics



子ども大人も一輪車を楽しもう
第3回楽しい一輪車教室 12月5日

バランスをつかみ始める初心者の児童
「第2回楽しい一輪車教室」が、市内村岡の筑波サーキットで開催され、市内小学校の児童108人が参加しました。初心者の児童は、補助具の手すりを使いながら、こぎ出し方やバランス感覚などつかむ練習に汗を流す一方で、一人で乗り出せる初級者の児童は曲がる練習や、オートレースの選手養成用コースのオーバルコースを自由に走り回るなど、日本一輪車協会から派遣された公認指導員にアドバイスを受けながら、技術を磨きました。



補助具を離れ練習する大人の初心者



最高潮の盛り上がりを見せる5校合同演奏

市内3中学・2高校が迫力の合同演奏
下妻市中学校・高等学校合同演奏会 12月20日

音楽に親しみを持ち、義務教育で身につけた資質能力を引き継いでいくことを目的に、市民文化会館で、「下妻市中学校・高等学校合同演奏会」が開催されました。下妻市で初となる中高連携事業に、演奏者や来場者など約700人が集まりました。合同演奏会では、クリスマスにちなんだ楽曲など全15曲が披露され、来場者は吹奏楽の美しい音色に耳を澄ませ、演奏が終わると大きな拍手を送っていました。最後に、閉会行事で5校合同演奏の楽曲「ガッツ」になると、ステージと客席の両方からのダイナミックな演奏となり、会場は最高潮の盛り上がりを見せました。東部中学校吹奏楽部の部長を務める2年の門井優菜さんからは「高校生のレベルがすごい。5校合同演奏は今朝、一回あわせてただけだったけど、みんなで楽しくできたのでよかった。高校に行ってもトロンボーンを続けたい」と話が聞けました。

下妻産のミルクキークイーンが高評価
「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」で金賞を受賞した

日本有数の米どころ山形県庄内町が主催する「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」で、米生産者の小林稔さん（高道祖）が栽培したミルクキークイーンが金賞を受賞しました。このコンテストは、消費者の求める安全安心でおいしい米づくりを全国に情報発信している庄内町が、機械による判定ではなく、実際に食べた人による審査結果をもとに最優秀賞を決定する米コンテストで、今回で9回目を迎えました。全国から応募があった味に自信のある443点の中から上位30点を対象に11月28日、JA庄内たがわ新余目支所で決勝大会が行われました。

受賞を喜ぶ小林さんは「農業や化学肥料の使用を控え、有機肥料を活用した土づくりに取り組み、ようやく決勝大会に進むことができた。今後は金賞以上を目指して頑張りたい」と抱負を語りました。



受賞を喜ぶ小林さん

下妻にイルミネーションの輪、広がっています



やすらぎの里しもつま(1月中旬まで)



下妻駅前広場(1月中旬まで)



観桜苑(1月中旬まで)



初代常総線北線担当の筑峯紫穂さん(左)から担当を引き継いだ美妻紬衣さん(右)

ふるさとの鉄道と沿線のPRにー役
関鉄レール・メイト戴帽式 11月28日

関鉄レール・メイトは、常総線や竜ヶ崎線の活性化の一環として、平成26年11月に誕生したマスコットレディーです。初代4人のメンバーは路線ごとに担当が決められ、地域のイベントなどを通じて、ふるさとの鉄道と沿線のPRに取り組んできました。同メンバーの任期は1年。第2期メンバーに役目を引き継ぐ戴帽式が、騰波ノ江ステーションギャラリーで行われました。式典では、鉄道ファンや行政関係者など約40人が見守る中、第2期メンバー4人は関鉄レール・メイトの証となる青い帽子を初代メンバーから1人ずつかぶせてもらいました。第2期メンバーで、路線環境から命名されたセカンドネームが美妻紬衣さんは下妻市出身。「幼い頃から通学や買い物などで馴染みのある常総線に携われるのは、非常にうれしい。大好きな地元のためにも、多くのお客さまが来ていただけるよう地域のPRに取り組み、貢献していきたい」と抱負を語りました。

下妻にイルミネーションの輪、広がっています

市内各所でイルミネーション
毎年恒例となっている「やすらぎの里しもつま」「下妻駅前広場」「鬼怒フラワーライン」「観桜苑」のイルミネーションに続いて、新たに「三道地ポケットパーク」でもイルミネーションが点灯され、下妻にイルミネーションの輪が広がっています。



鬼怒フラワーライン(1月中旬まで)



三道地ポケットパーク(1月中旬まで)



防犯・交通安全を呼びかける一日警察署長の児童たち

みんなであつくり安全で安心な街
年末年始犯罪抑止・飲酒運転根絶キャンペーン 12月18日

防犯や交通安全意識を高めようと、「年末年始犯罪抑止・飲酒運転根絶キャンペーン」をイオンモール下妻で行ない、下妻警察署や下妻市、八千代町の防犯・交通安全関係団体から約100人が参加しました。開会式では、豊加美小学校の栗原大翔さん(1年)、金子莉菜さん(1年)、倉持直広さん(2年)、和田伊織さん(2年)の4人が下妻警察署長から一日警察署長に委嘱され、「寝るときや出かけるときは必ず戸締りをしましょう」「お酒を飲んだらクルマの運転はやめましょう」などと一人ずつ防犯・交通安全宣言を行いました。参加者は買い物客に啓発品やチラシを配りながら、「安全・安心なまちづくり」への協力を呼び掛けました。



脳とこころの発達の視点から、睡眠の大切さ知る

下妻市家庭教育学級講演会 12月20日

「子どもの睡眠と健康～脳とこころの発達の視点から～」と題した講演会が、日本体育大学児童スポーツ教育学部教授の岡本美和子氏を講師に迎え、千代川公民館ホールで開催されました。下妻市家庭教育学級で学ぶ市内幼稚園、小中学校に子どもを通わせる保護者や教職員など約100人が参加しました。

講演会で岡本教授は、大人の生活リズムに付き合わせられて夜遅くまで子どもが起きている傾向があることをあげ、「脳内ホルモンは、夜は暗くなること、朝は光を浴びることによって分泌が促される。脳を休ませたり、活性化させたりする大切なもの」などと説明し、子どもの成長にかかる睡眠の大切さを伝えました。

男の子3人を持つ母親の近藤恵美子さん(小野子町)からは「暗くするだけでも脳を休めることが分かった。部活で疲れて帰ってくる子どもに、時間がない中でも実践していきたい」と話が聞けました。



睡眠の重要性を伝える講師の岡本教授

自然と朝焼けにあこがれて

「いばらき自然環境フォトコンテスト」で茨城県知事賞 12月10日



茨城県知事賞「早朝の筑波山」

写真を通して、自然環境に恵まれた茨城県の魅力を伝えるとともに、環境に配慮した生活を送る契機となることを目指した「いばらき自然環境フォトコンテスト」で、プロ・アマ問わず応募があった310点の中から、市村一夫さん(平川戸)の作品「早朝の筑波山」が茨城県知事賞を受賞しました。



賞状を手にする市村さん

「筑波にもいろいろな表情がある」と、自然と朝焼けにあこがれて筑波山を撮り続ける市村さん。「今では写真が生きがいになっている。今後は二科展茨城支部で上位の賞を取りたい」と抱負を語りました。

3月は「自殺対策強化月間」です 気づきの輪、もっと広げよう。

わが国の年間自殺者数は、平成10年に急増して以降、14年連続して3万人を超えて推移していましたが、平成24年には27,858人と15年ぶりに3万人を下回りました。

しかしながら、平成27年も22,105人(速報値)と依然として多くの人が自殺で亡くなっているのが現状です。自分の命も他人の命もかけがえのない命です。「気づき」「声かけ」「見守り」で、悩んでいる人の孤立を防ぎ、生きる希望につなげていきましょう。

■「心の病」を理解して、あたたかい支援を

うつ病やアルコール依存症、統合失調症などの「心の病」は、自殺と強い関わりがあるとされています。

「心の病」は適切な治療と周囲のあたたかい関わりにより心のエネルギーを回復させることができます。悩みを抱えて孤立せず、一人でも多くの方が家族や地域の支援につながることで自殺予防にとって重要になります。

■あなたの問題解決を支援する「相談窓口」があります

同じ悩みを持つ者の支え合い、情報の共有は大きな力になります。

精神障害者家族会

みんなの体験談に耳を傾けてください。あなたの思いを吐き出してください。あなたの悩みは自分だけの問題ではなかったことに気づくはずですよ。

「病気や薬のこと」「家庭での対応方法」「本人をどう支えていけばよいか」「いずれ訪れる親亡き後のことをどう準備しているか」など、体験者と話し合ってみましょう。

連絡先:下妻地方家族会 ☎0297-42-1712
(下妻地方地域活動支援センター「菜の花」内)

精神障害者デイサービス

月に一回、障害を抱えるご本人が集まり、料理やスポーツ、作業療法などを実施しています。

お互いの悩みや毎日の過ごし方を話し合える場所で、参加者は毎月の集まりを楽しみにしています。

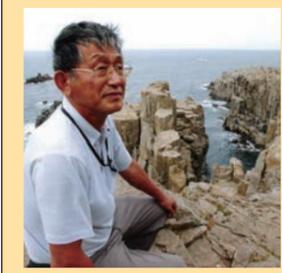
連絡先:福祉課 障害福祉係 ☎43-8352

精神に関する相談窓口

こころの病に関すること、精神通院医療費助成の手続き、福祉サービス利用の相談など。

予約制によるカウンセリングを毎月開催しています。
連絡先:福祉課 障害福祉係 ☎43-8352

こころの健康づくり講演会



NPO法人
心に響く文集・編集局
理事長 茂 幸雄氏

全国的に「自殺の名所」というイメージが強い福井県の東尋坊で、長年にわたり自殺防止活動にご尽力されている茂幸雄氏をお招きし、自殺志願者の現状と、それを取り巻く社会問題を学ぶ講演会を開催します。

演題: STOP!! 自殺
～東尋坊の命の灯台
“茂さん”からのメッセージ～

日時: 2月14日(日)
午前10時30分～正午
(受付 午前10時～)

場所: 千代川公民館 ホール

問い合わせ 福祉課 障害福祉係 ☎43-8352

参加費
無料

有料広告欄

ほっとレポライン Hot Repo Line 市民の声

大宝小学校の音楽鑑賞会で、プロ歌手のバックバンドとして保護者9人で結成したバンドでの演奏に挑戦した40代女性(匿名)からのお便りを紹介します。

大宝小学校では、11月20日(金)に音楽鑑賞会を開催しました。今回の音楽鑑賞会は、いつもとは趣向を変え、プロの歌手が歌い、保護者がバックバンドとして楽器を演奏する“保護者参加型”のスタイルでした。

音楽鑑賞会を運営するPTAスタッフから声をかけられた保護者9人で、ギター、ピアノ、コーラス等の即席バンドが結成され、8月下旬から約3か月間の練習が始まりました。小学校の音楽室を借りたり、メンバーが開いているピアノ教室を借りたりしながら、週1～2回の猛特訓をしました。はじめのうちは、音が合わなかったり、間違えたりと不安でいっぱいでしたが、「子どもたちに親の頑張っている姿を見せたい」「自分たちの姿を見て何かを感じてほしい」、そのような思いで練習に励みました。最後の1か月間は、体育館での練習に切り替え、毎回、本番同様の練習をしました。

音楽鑑賞会の当日、会場には児童、園児230人、保護者150

「頑張る姿で伝えたい」

人、合計400人近い方が集まり、会場を埋め尽くしました。会が始まるまでは大変緊張しましたが、演奏が始まると不思議と緊張がほぐれ、心地よい空気の中、演奏することができました。3か月間の練習の成果を十分に発揮できたと思います。

3曲目に演奏した「Believe」は、子どもたちと一緒に歌い、大合唱となりました。ステージ上から見たその様子は、忘れられない光景となりました。私たちの演奏を見て、きっと子どもたちは何かを感じ、何かを考えてくれたことと思います。

帰宅した際、「お母さん、すごかったよ」と子どもから言われ、3か月間の苦勞が報われた思いでした。仕事、家事、育児と忙しい中の練習はとても大変でしたが、「大人の青春」という感じで、今では楽しい思い出となっています。



バックバンドで奮闘する保護者たち(大宝小学校体育館で)

わがやのにんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



りょうま 山口 諒真ちゃん

竜司・美恵子さんの長男 長塚

パワーショベルが大好き☆
元気いっぱい、りょうま君。
最近のお気に入り、恐竜ごっこ、虫の観察！ジジの畑のお手伝いもがんばっているね(o^^o)
幸せをいつもありがとう♡これからも、元気にすくすく育ててね！



さら 柴田 紗良ちゃん

秀一・瑞希さんの三女 前河原

1歳を迎え、あんよが上手になり、お散歩デビューした紗良ちゃん。
保育園で習った「トントン前♪」や「ちよちよちあわわ〜♪」を全身で披露してくれる紗良は、皆をメロメロにしちゃうね♡
4人兄弟の末っ子で、さすがに強いなあ…と感心させられることも多いです。
元気に健康で育ててね。



れおな いおり 平塚 蓮桜奈・唯織ちゃん

智也・悠里さんの長男・長女 原

平成27年11月に、新たな家族の弟・唯織が生まれて急にお姉ちゃんになった蓮桜奈。弟ができてまだまだ甘えん坊だけど、毎日家の中を走り回っちゃうくらい元気いっぱい。
少しだけど、お手伝いもしてくれるのでごく助かっています。
これからは、姉弟スクスク元気に育ててね。



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



あくい すずか 4歳 (下妻保育園)

おやま
あつ おやまがきれいだな
おやま おおきいね
いっぺんたいね
でもね すずちゃん
おやまたいからの ほれないよ
かたから ほれないよ

【解説】
保育園の帰りに、筑波山がきれいに見えていました。「かたい」と「たかい」を言いまちがえているのかと思つたのですが、いろいろ聞いてみたのですが、山は「かたい」物だと思つているようです。
採集 父 安喰 和也

きぬ保育園

今年の干支はサル!



◀年長児めろん組の皆さん



みんなでサルの絵馬を作りました。サルの顔は、秋に畑で収穫したさつまいもで版を押しました。体や手は、スポンジのスタンプでポンポン! かわいいおサルさんができました♡
4月からは、よいよ小学生! 今年もよい年になりますように…。

みんなのギャラリー

私には2人の子ともがいます。
子どもの成長を見守るのは楽しいものです。しかし、子育ては自分と向き合うものでもあります。投げ出したくなることもしばしばです。そんなとき助けになってくれたのは、やはり子育てをしている世代のお母さんたちでした。

また、小さいお子さんを見ると、子どもの成長過程が思い出され、懐かしさを感じ、改めて無邪気でいられる時間、間は短く、大切なものだなあと考えさせられるのです。
下妻市に住んで20年余り経ちました。たくさんのお出合いに感謝を込めて、私にできることは多くありませんが、PTAやボランティア活動などを通して次の世代の方々にも楽しく子育てができる環境を支援していけたらと思っています。

わたしからあなたへ

さわやかリレー vol.120

前回登場の斯波すみれさんからの紹介



川面 亮子 さん(下木戸)

俳句

市民文芸

かさこそと餌探る音や夕時雨 篠崎 順子(若柳甲)
歩み来し道光る蟻の小春かな 鈴木 素香(下妻丁)
寄り添ふて一灯をなす石路の花 木村まり子(加養)
除夜の鐘平和のひびき永久に 安原百合子(鯨)

短歌

常になき静けさ胸をつきあげて 倉田 淑子(原)
木立ちの奥より月の視線
万歩計腰につけゆきジョギングす 小竹八重子(五箇)
北風強き夕暮れの中 伊東 豊乃(加養)
青空に高々と咲く皇帝ダリアのうすむらさきを眺めてあかず 稲葉 節子(加養)
男の孫はまもなく生後三ヶ月 木村 りん(下妻乙)
話しかけると声たて笑う
咲き終えしミニひまわりのプランターに 須藤恵美子(前河原)
コスモス揺らす通学道路 須藤恵美子(前河原)
有機質の堆肥を畑に撒きたれば
鳥の集団目敏くあさる

広報しもつま2015年12月号の訂正
12ページ：市民文芸「短歌」の作者名
【誤】海老原美恵子(下木戸)
【正】海野原美恵子(下木戸)
お詫びして訂正します。

有料広告欄

有料広告欄

◆行政相談

日時 2月12日(金) 午後1時30分～3時30分
場所 千代川公民館 1階 小会議室
日時 2月26日(金) 午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 1階 和室
問合せ 秘書課 ☎43-2112

◆人権相談

日時 2月26日(金) 午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 2階 小会議室
問合せ 人権推進室 ☎43-8246

◆こころの健康相談

日時 2月10日(水) 午後1時～4時(予約制)
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
問合せ 福祉課 ☎43-8352

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)
午前9時～12時 午後1時～4時30分
日曜日(2月28日)
午前9時～12時
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談
日時 2月4日(木) 午後5時30分～7時30分
・休日納税相談
日時 2月28日(日) 午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 1階 収納課
問合せ 収納課 ☎43-8274

◆法律相談

日時 2月9日(火)・16日(火)・23日(火)
午後1時30分～3時30分
※事前に予約が必要です(当日不可)
場所 2月9日 市役所第二庁舎 3階 大会議室
2月16日・23日
市役所第二庁舎 3階 中会議室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

1月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,153人 (-43)	(-272)
男	21,620人 (-24)	(-104)
女	21,533人 (-19)	(-168)
世帯数	15,352世帯 (-3)	(+143)

テレフォンサービス

- ◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
- ◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 2月1日～2月29日

2/1 月		小 西南
2 火	元気アップ教室(9:15～10:00)	小 西南
3 水		小 西南
4 木	すくすく相談(予約制13:30～)	小 西南
5 金	ぴよぴよ教室(10:00～10:30) 5か月児健診(平27.8月生13:15～13:30)	小 古河
6 土		夜 小 西南
7 日	在 中山医院	夜 小 西南
8 月		小 西南
9 火	2歳児歯科健診(平25.12月生13:15～13:30)	小 西南
10 水		小 西南
11 木	在 坂入医院	夜 小 西南
12 金		小 古河
13 土		夜 小 西南
14 日	在 軽部病院 口腔がん検診(予約制) 下妻保健センター	夜 小 友愛
15 月		小 西南
16 火	キッズくらぶ(ベビー&ママ体操)(10:00～10:30)	小 西南
17 水	パクパク離乳食教室(予約制10:00～10:15)	小 友愛
18 木	1歳6か月児健診(平26.7月生13:15～13:30)	小 西南
19 金	3歳児健診(平24.11月生13:15～13:30)	小 古河
20 土		夜 小 西南
21 日	在 湖南病院/とき田クリニック	夜 小 西南
22 月		小 西南
23 火		小 西南
24 水		小 西南
25 木	すくすく相談(予約制13:30～)	小 西南
26 金	小児リハビリ教室(予約制13:30～)	小 古河
27 土		夜 小 西南
28 日	在 砂沼湖畔クリニック	夜 小 友愛
29 月		小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

中山医院 ☎43-2512 湖南病院/とき田クリニック
坂入医院 ☎43-6391 ☎44-2556
軽部病院 ☎44-3761 砂沼湖畔クリニック ☎43-8181

夜 夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く): 午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日: 午後6時～午後11時
日曜・祝日: 午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。
・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111
・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000
・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111

広告募集

- 広報しもつま
 - 窓口用封筒
 - 市ホームページ
- に掲載する広告を募集します

市では、地域産業の振興を図るとともに、広告掲載料による自主財源の確保を目的として、「下妻市広告掲載取扱に関する要綱」を定め、広報しもつまや市ホームページなどに広告を掲載する事業者等を募集しています。

募集内容(下図参照)

- 「広報しもつま」は、原則として毎月10日に発行しています。オールカラーで14,000部作成し、市内のご家庭に各戸配布しているほか、市の施設や駅、ショッピングセンターなどにも置いています。各ページの最下段に広告枠を設けています。
- 「窓口用封筒」は、市民課などの窓口で使用している封筒の裏面に、広告枠を設け、今後使用が見込まれる20,000枚を印刷します。
- 「市ホームページ」への広告掲載は「バナー広告」とし、掲載位置はトップ画面の中で市が指定した位置となります。月に約15万件ものアクセスがあります。

広告の位置、企画および掲載料

種類	位置	規格	回数又は月数	掲載料
1 広報しもつま	最下段(表紙及び最終面を除く)	通し枠 (42mm×178mm)	1回	15,000円
			連続3回	43,000円
			連続6回	80,000円
		2分の1枠 (42mm×88mm)	1回	8,000円
			連続3回	23,000円
			連続6回	42,000円
				連続12回 80,000円
2 窓口用封筒(1枠)	封筒裏面に印刷	60mm×85mm	掲載した封筒の使用完了まで配布 20,000枚×@4.0円から受付	
3 市ホームページ	広告の掲載位置は、市ホームページのトップ画面で、市の指定する位置とする。表示方法は、「バナー広告」とする。			
	規格(1枠)	縦43ピクセル、横138ピクセル、 8KB以内、GIF形式(アニメーション可) 又はJPEG形式	1月	15,000円
			連続3月	43,000円
			連続6月	80,000円
			連続12月	150,000円

申込資格

住所又は事業所を有する市町村の市町村税を滞納していないもの。
※「下妻市広告掲載の取扱いに関する要綱第3条」に定められた広告(公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるものなど)は掲載できません。

申込締切

平成28年2月12日(金)

申込方法

広告掲載申込書に、下記の添付書類を添えて、お申し込みください。
○添付書類
・広告原稿(案)
・住所又は事業所を有する市町村の市町村税の滞納がないことを証する書類(市内に住所又は事業所を有する場合を除く)
※広告掲載申込書は、市役所秘書課(本庁舎2階)に用意してあります。また、市ホームページからダウンロードできます。

申し込み・問い合わせ 秘書課 ☎43-2112



有料広告欄